

# 学校再開 日常へ一歩踏み出す



318号  
錦城高等学校新聞委員会  
編集室 2020

みんなでつくる  
錦城高校新聞

ついに学校再開!  
6月1日(月)、3年生  
第1回登校日の  
様子をの届けします

## 3年生1回目の登校

東京都でも緊急事態宣言が解除され、時差通学・分散登校といった形で学校登校が再開された。今週6月1日(月)～6日(土)までは登校準備期間となっており、1日は3年生のみの登校日。約3か月ぶりに登校した3年生の様子を速報版で伝えたい。

### 始業式・HRの様子

3年生は昨年度の3月から、約3か月ぶりの学校への



各教室の教壇には、新型コロナウイルスの飛沫感染を防ぐため、簡易的なデスクシールドが設置されていた(写真協力:神谷先生)

登校となった。今日は登校準備期間の1回目の登校日。10時から5クラス、12時から4クラス、14時から4クラス

(編集部共同取)

と、学年を3分割しての分散登校となった。クラスごとにそれぞれ体育館やホールなどの広い施設・大教室を使い、始業式とHRを行った。始業式では、まず始めに校長先生のお話が印刷されたプリントが配られ、それを黙読。その後は自己紹介をしたり今後の分散登校についての連絡事項が伝えられたりと、HRの時間となった。例えばあるクラスのHRでは、とある先生の「Googleで調べればなんでも分かる時代に、なぜ勉強しななければならないのか」というコラム記事が紹介され、担任の先生から大学受験を控える3年生に向けて、勉強についてアドバイスがあった。今後も分散登校が続くため、クラス全員が顔を合わせられる機会は少ない。生徒たちは新しいクラスメイトと貴重な

## 1年生の皆さん!! 編集委員になりませんか?

錦城高校新聞は、新聞委員会編集部が作成している校内新聞です。今この記事を書いているのも編集委員! 編集部の活動は、様々な分野で活躍する錦城生や卒業生を取材したり、東京オリンピック・パラリンピックに向けた交流会に参加したりなど多岐に渡っています。また、東京都高等学校新聞コンクールでは12年連続で最優秀賞を受賞し、東京都代表として全国大会に出場しています。取材を通して多くの人や物事と出会うことができる編集部に入ってみませんか?



文化プログラム取材会に参加(310号)

新校舎7階奥の生徒会室で活動しています。  
興味のある方はぜひ来てみてください!

### 久々の登校に生徒は

休校期間中、規則正しい生活を心がけていたという服部賢くん(3A)は「休校が明け嬉しかったけれど、怖い気持ちも半々。マンモス校だし通っている地域も広いので、いつ感染が広がるか分かりません」と表情を曇らす。武田悠希くん(3A)は学校へ順調に通えている地帯も広いので、いつ感染が広がるか分かりません」と表情を曇らす。武田悠希くん(3A)は学校へ順調に通えている地帯も広いので、いつ感染が広がるか分かりません」と表情を曇らす。武田悠希くん(3A)は学校へ順調に通えている地帯も広いので、いつ感染が広がるか分かりません」と表情を曇らす。



社会的距離を保ちながら取材に応じる2人

「毎日大切に過ごして」  
3年B組担任の川越崇先生は「この期間どんな勉強をすればいいのか試行錯誤しながら考えることは、これから生きていく上でも、とても大切

登校時にはマスク着用と検温することがHRでも伝えられた。まだまだ感染予防への配慮が必要な期間。今後も感染対策をしっかりと行い、少しずつ日常を取り戻していこう。

3年生は、2日(火)～3日(水)に校内で行われるベネッセマーク模試を、密集を避けるためほとんどのクラスが2会場に分かれて受験する。そして4日(木)～22日(月)には、分散登校・短縮授業が実施される予定だ。

\*\*\*